

大地震が起きたら

鎌倉高校では、大規模地震について以下のような対応をしますので、保護者のご理解とご協力をお願いします。

1. 授業中に大規模地震が発生したら

- ・机の下に身を入れる等の防護措置や避難誘導をおこない、安全な場所に避難集合させるとともに、学校長を中心とした初動体制本部を組織します。
- ・生徒の安全と人員の確認後、「全員帰宅」の可否を本部が判断し、「帰宅」の場合は教職員の引率により「緊急避難時の下校班」（裏面）ごとに、集団で最寄り駅まで下校させます。
- ・交通事情等の理由で帰宅不可能な生徒については、校内の安全な場所に待機させ、家庭との連絡をとりながら、保護者の迎えを待って帰宅させます。

2. 「東海地震に関する情報」が発表されたら

24 時間観測されている東海地震については、大規模地震対策特別措置法により、地震の危険度に合わせて、「東海地震観測情報」「東海地震注意情報」「東海地震予知情報（警戒宣言発令）」の3段階の東海地震に関する情報が発表されます。

□「東海地震観測情報」が発表されたら

※観測された現象が東海地震の前兆現象であると直ちに判断できない場合や、前兆現象とは関係がないことがわかった場合に発表されます。

学校は防災対策の再確認をして情報収集体制に入りますが、授業は平常通り行います。

□「東海地震注意情報」が発表されたら

※観測された現象が前兆現象である可能性が高まった場合に発表されます。

在校時は授業を打ち切り、生徒を帰宅させます。

在宅または登下校時などの校外で発表された場合は、注意情報の解除があるまで学校は休校となるので、生徒は帰宅して自宅待機となります。

□「東海地震予知情報（警戒宣言発令）」が発令されたら

※東海地震の発生のおそれがあると判断した場合に発令されます。

在校時は授業を打ち切り、生徒を「緊急避難時の下校班」ごとに帰宅しますが、警戒宣言発令にともない鉄道が運行休止になる地区（地震防災対策強化地域：海老名市・厚木市・寒川町・茅ヶ崎市以西8市11町、鉄道の運行休止は、東海道線藤沢駅以西、小田急小田原線相武台前駅以西、相模線茅ヶ崎駅橋本駅間、箱根登山鉄道全線、伊豆箱根鉄道全線）の生徒は学校に残し、家庭との連絡をとりながら本部の判断で対応します。

在宅または登下校時などの校外で発令された場合は、警戒宣言の解除があるまで、学校は休校となるので、生徒は自宅待機となります。

【連絡・問い合わせ先】

神奈川県立鎌倉高等学校

0467 (32) 4851

<http://www.kamakura-h.pen-kanagawa.ed.jp/>

3. 災害用伝言ダイヤル

災害時の連絡方法としてNTT「災害用伝言ダイヤル171」があります。災害発生後、安否の確認にご利用ください。（録音時間：1伝言30秒以内）

録音するとき：17110 自宅電話番号・・・録音

再生するとき：17120 自宅電話番号・・・再生

※その他、携帯電話の災害用伝言板サービスがありますので、それぞれご確認ください。

4. 緊急避難時の下校班

1班	J R横須賀線沿線（逗子～久里浜方面） 京浜急行沿線（追浜～浦賀～津久井浜方面）
2班	J R横須賀線沿線（大船～鎌倉方面）・江ノ電沿線（藤沢～鎌倉方面） 小田急江ノ島線沿線（藤沢～江ノ島方面）
3班	J R根岸線沿線（大船～横浜方面）・京浜急行線沿線（横浜～金沢八景方面）
4班	J R東海道線沿線（大船～横浜方面）・相鉄線沿線（瀬谷～横浜方面）
5班	小田急江ノ島線沿線（藤沢～湘南台方面）
6班	J R東海道線沿線（藤沢～茅ヶ崎方面南側）
7班	J R東海道線沿線（辻堂～茅ヶ崎方面北側） J R相模線沿線（茅ヶ崎～海老名方面）
8班	小田急江ノ島線沿線（長後～中央林間方面）
9班	J R東海道線沿線（平塚～小田原方面）
10班	小田急小田原線沿線（本厚木～小田原方面）

※鉄道路線の一部は警戒宣言発令時には運行休止となります